

2014年12月18日

東急不動産株式会社

パラオ共和国のホテル「パラオ パシフィック リゾート」 開業 30 周年記念レセプションを開催 ～ミクロネシア地域初の水上バンガローが誕生～

東急不動産株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:三枝利行)の子会社である Pacific Islands Development Corporation(本社:パラオ共和国、社長:橋詰雅彦)が所有・運営するパラオ共和国のリゾートホテル「パラオ パシフィック リゾート」は、今年12月10日に30周年を迎え、現地で開催された記念レセプションにおいて新たにミクロネシア地域初となる水上バンガローを2015年7月(予定)に開業することを発表いたしましたので、お知らせいたします。

パラオ パシフィック リゾートは、パラオ共和国コロール州アラカベサン島の西岸にあるリゾートホテルで、1984年に民間初のリゾートホテルとして開業いたしました。12月10日に行われたレセプションには、多くの宿泊客に加え、地元からはトミー・E・レメンゲサウ・Jr.・パラオ共和国大統領を始めとする政府関係者の方々や田尻和宏在パラオ日本国大使館特命全権大使も出席され、長年に渡るパラオ経済への貢献やパラオ人に対する雇用と人材育成の実践、また環境保護を両立させた開発により同国における観光業をリードし、世界における同国の認知度向上に役割を果たしてきたことに対し、賛辞のお言葉を頂戴いたしました。



パラオ上院より授与された感謝状

◆ 「自然の保護と開発の両立」を掲げる東急不動産の想いと徹底した環境への取り組み

ホテルの開発にあたり「自然の保護と開発の両立」を掲げ、泥土の流出により珊瑚が育ちにくい環境だった前面の海は、海流を改善することで瀕死状態だった珊瑚を再生し、今ではコロール州より海洋生物保護区に指定されています。

ホテル建設にあたり敷地内の樹木はできる限り残し、屋根の高さはヤシの木よりも低く設計したことで、自然の景観を活かした造りとなっています。パラオ パシフィック リゾートは、観光業が主産業の一つであるパラオにおいて多くの雇用を生み出しており、ホテル従業員のうち約80%はパラオ人で構成されています。このような「地域への尊敬の念を持った開発」への想いは、開業から30年経った現在でも引き継がれています。



ホテル前面の海は海洋生物保護区に指定されている



ヤシの木よりも低く設計されたホテルの屋根

◆ ミクロネシア地域初の水上バンガロー

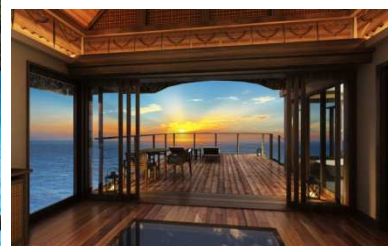
このたび新たに建設されるパラオ パシフィック リゾートとしては約 20 年ぶりの増築となる水上バンガローは、5 棟 5 室(1 棟独立型)、客室面積約 89 m²(屋内約 53 m²、屋外約 36 m²)で、ミクロネシア地域では初となる水上バンガローです。目の前に広がる太平洋を一望でき、一年中屋内外からサンセットを眺められる贅沢な空間となっています。さらに屋内には海中を覗けるガラス床を設置し、屋内外どちらからでも美しい海を堪能できます。パラオの自然と伝統を思う存分お楽しみいただけるデザインと機能が充実した設計となっています。



ミクロネシア初の水上バンガロー(完成イメージ)



海中を覗けるガラス床を設置



太平洋を一望できる屋外デッキ

1984 年の開業以降、パラオ パシフィック リゾートではお客様の多様なニーズにお応えするための設備投資を順次行ってまいりました。今後も、環境への配慮を念頭に、よりお客様に充実した滞在時間を過ごしていただけるよう、施設の拡充を図ってまいります。

【パラオ パシフィック リゾート施設概要】

敷地面積	254,822 m ²
延床面積	14,835 m ²
客室数	160 室
開業	1984 年 12 月 10 日

【水上バンガロー建物概要】

客室面積	約 89 m ² (屋内約 53 m ² 、屋外約 36 m ²)
部屋数	5 棟 5 室(1 棟独立型)
開業	2015 年 7 月(予定)



palau pacific resort

パラオ パシフィック リゾート ロゴマーク